

2014全国通信三田会春期幹事会報告

2014年5月24日(土)

資料 NO. 2-8

地域連絡部部長 瀬戸田 誠

## 1. 地域連絡部の現状と対策案

- 1-1 各地域の地域三田会を掌握する副部長の認識が薄い(役務の認識)  
→ 現状の情報交換の機会設定と連絡ツールは適正か、その手段の点検が必要
- 1-2 現在パソコンの無い、できない副部長への対応  
→ 担当の交代処置、または、パソコンのできる人に補佐役、サポートしてもらい、また、1-3の有効機能を選定し徹底対応を図る
- 1-3 情報の連絡方法の多角的活用がされてない(連絡、回答が遅い)  
→ E-Mail、携帯電話の携帯メール、SM(ショートメール)、ファクス等を念頭に、活用できる手段をスピーディに判断活用する
- 1-4 地域内の有効な連絡網(マップ)がない  
→ 副部長がイニシアティブを取って、地域内三田会と連携協議して連絡網マップを作成し活用する

## 2. 地域連絡部の日常活動と役割

- 2-1 各地域内の活性化のけん引役としての活動を地域三田会とタイアップしパワーアップする。  
→ 合同通信三田会開催時に、テーマを取り上げて協議、サポート連携、提案合同通信三田会未組織地域への促進活動を拡げ活性化を計る
- 2-2 地域にある慶友会と通信三田会の交流を促進、会員増対策を図る  
→ ニュースレター情報等を資料として、会活性化の話し合いをする
- 2-3 全国通信三田会幹事会や慶應連合三田会に出席出来ない役員・会員へのサポート機能として合同通信三田会の場を活用してPR  
→ 慶應の良さは「三田会」にあり、「慶應連合三田会」への参加ツアーを組む 等

以上